

各 位

2025 年 10 月 1 日
株式会社リットーミュージック

『トラック野郎』公開 50 周年記念の書籍『トラック野郎 50 年目の爆走讃歌』が 10 月 17 日に
発売！

10 月 18 日には西荻窪・今野書店で著者と東映 OB によるトークイベントも開催



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）で文芸・カルチャー関連を扱う出版レーベル立東舎は、『トラック野郎 50 年目の爆走讃歌』（小川晋 著）を、2025 年 10 月 17 日に発売します。

本書はデコトラ雑誌に 4 年連載された「映画トラック野郎 爆走讃歌」をベースに、新たに中島ゆたか、あべ静江、小野みゆき、黒沢年雄、宇崎竜童＋阿木燿子の各氏に新規インタビューを敢行、総勢 45 名の言葉が織りなす一大『トラック野郎』証言集となっています。

また、10 ページに及ぶ PHOTO GALLERY には秘蔵写真を多数掲載、さらに巻末には「全 10 作詳細クレジット」と題したキャスト・スタッフの（ほぼ）完全クレジットを収録。資料性も十分で、手元に置いておきたい 1 冊となっております。

また、本書の刊行を記念したトークイベントが発売日の翌日 10 月 18 日（土曜日）に、西荻窪の今野書店で開催されます。著者の小川晋（トラック野郎研究家）に加え、東映宣伝プロデューサーで『トラック野郎』の仕掛人でもある福永邦昭氏が登壇、同作にまつわる今だから話せるマル秘

映画に携わるなんて
想像もしていなかった

哥磨会初代会長
宮崎靖男

映画『トラウマク野郎』を支えた最重要人物といえは、この方ミスタートラウマク野郎、宮崎雄男さん。2014年11月28日に菅原文太さん、2015年4月15日に愛川欽也さんが相次いでこの世を去り、今までの感謝を込めて同年7月19日、茨城県大浜市で行われた追悼イベントを行った際の心情を伺った。

PROFILE

【みやびや すお】1943年（昭和18年）10月18日生まれ、東京都町田市出身。高校卒業後に通信会社にトラック助手となり型抜きを取り得。62年、企画だてのダンブ屋へ転身する。カラーリング、マーカールン、とダンブを専らにげに携りてくるが、ついで、三葉ふよりT931を購入した頃から本格的にコレクションの熱が加速する。75年、NHKの番組「カメラリポート 走る青春道楽」の出演をきっかけに、映画「トラック野郎」の製作協力に一枚貫くことになる。同時にコレクションシトラック愛好会「ループ」を創設。同会を設立、会長となる。映画撮影は会長を退き、その後は「ループ」を運営。



追悼集会を盛大にやろう

——まずは追悼イベント、お疲れさまでした。

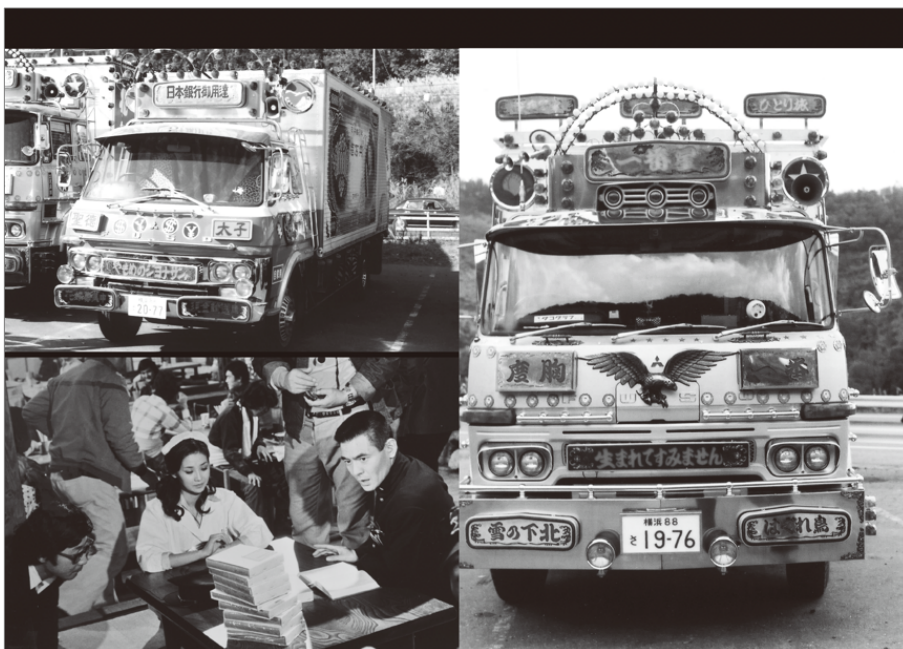
宮崎 おかげさまで、無事に納り行うことが出来ました。スポーツ紙によると、トラック700台、2000人を超える方々が参加してくれたんですね。この場をお借りして、みなさまへ厚く御礼を申し上げます。

— 今回は、どういったきっかけで企画が浮上したのでしょうか？ —

喜劇「2011年の12月13日、菅原文太さんのお別れ会を行った際、映画「トラフク野郎」の撮影に協力した旧友が多数集まってくれた。そのとき、改めて文太さんの感謝の気持ちを込めて、追悼会が盛大にやうろしぎなかになった。その後、会場席が半ばを過ぎたところまで三曲を演奏してもらった。文太さんの後を追うように菅川欽也さんも亡くなってしまった……。結果的におふたりの追悼イベントになったんだ。

——ここで、宮崎さん以外の各発起人をご紹介いただけますでしょうか？

が「度胸」番屋」の撮影準備をしていたところに、八代幸三さんがハンカチを袖、刺繍を探しはいて鈴虫を監督がオウサリとに連れてきた。監督の望は、あんまり誤手しなくて、おうさリと鈴虫をオウサリとつてアブ「オウサリ」ことだから、小林さんのシンパを演じに来たんだ。監督も小林さんクルマを気に入りつて、本人に自診しに、快く撮影協力を承しにくれ。



『トラック野郎 50年目の爆走讃歌』刊行記念トークイベント

トラック野郎

**大人気シリーズ映画の
光と影を語り尽くす！**

ゲスト

小川晋

著者／トラック野郎研究家。

福永邦昭

元東映宣伝プロデューサー

見逃しアーチ

会場参加 2,200円

配信参加 1,650円

会場：西荻のことビル1階 西荻のことカフェ（主催：今野書店） **2025年10月18日(土) 19:00-20:30**

EVENT

『トラック野郎 50 年目の爆走讃歌』刊行記念 小川晋（著者／トラック野郎研究家）＋福永邦昭（元東映宣伝プロデューサー）トークイベント 「大人気シリーズ映画の光と影を語り尽くす！」

日時：2025 年 10 月 18 日（土）

主催：今野書店

場所：西荻のことカフェ

参加費：2,200 円（会場参加）、1,650 円（配信参加）

詳細：<https://peatix.com/event/4577638>

■書誌情報

書名：トラック野郎 50 年目の爆走讃歌

著者：小川晋

定価：3,300 円（本体 3,000 円＋税 10%）

発売日：2025 年 10 月 17 日（金）

発行：立東舎／発売：リットーミュージック

商品情報ページ <https://rittorsha.jp/items/25317420.html>

CONTENTS

INTRODUCTION 『トラック野郎』の世界へようこそ！

第一章 俳優編

菅原文太／中島ゆたか／あべ静江／小野みゆき／黒沢年雄／原田大二郎／なべおさみ／湯原昌幸／誠直也／佐藤晟也／高月忠／司裕介／梅津昭典

第二章 メインスタッフ編

中嶋徹／林鑛一／桑名忠之／加藤光男／東一盛／片桐政雄／田島俊英／河合啓一

第三章 スタッフ編

岡本明久／新井清／阿井真咲／佐伯俊道／吉崎元／井上眞介／大町進／増川弘邦／宮晃／三富正／瀬戸恒雄／横山和幸／新井鐘哲

第四章 撮影所長・本社スタッフ編

幸田清／鈴木常承／関根忠郎／佐々木嗣郎／福永邦昭

第五章 哥磨会編

宮崎靖男／高橋忠政／佐藤邦彦／中村保次

SPECIAL INTERVIEW 宇崎竜童＋阿木燿子

PHOTO GALLERY

全10作詳細クレジット

PROFILE

小川晋（おがわ・しん）

1972 年、東京都町田市出身。2001 年、日本映画学校（現・日本映画大学）演出科を卒業後、『キューティーハニー』（2004 年 庵野秀明監督）や『火火』（2005 年 高橋伴明監督）等で装飾小道具を担当する一方で、日本娯楽映画の映像文化を研究。特に『トラック野郎』に関しては、幼年期にたまたま TV 放映で観たシリーズ第 1 作『御意見無用』のクライマックス、ズタボロになった一番星号の爆走シーンに強烈な衝撃を受けて以来、果てしなき探究を続ける。2014 年『トラック野郎ブルーレイ BOX 2』（東映ビデオ）ブックレットの構成・解説、翌年リリースの CD『歌え!!トラック野郎』及び CD 第 2 弾『帰ってきた!!トラック野郎』（ユニバーサルジャパン）のサウンドトラックディスクの選曲・掲載データ作成に従事。2022 年、デコレーショントラック専門雑誌「カミオン」（芸文社）で、『トラック野郎』シリーズ全作を担当した美術監

督・桑名忠之氏が作成したロケハン記録で撮影当時を同氏と振り返る「スクラップブック回想記」を連載。著書に『映画トラック野郎 大全集』、共著に『実録やくざ映画大全』（ともに洋泉社）、『アデュ〜ポルノの帝王 久保新二の愛と涙と大爆笑』（ポット出版）、『不良番長浪漫アルバム』（徳間書店）など。現在は京都芸術大学映画学科 副手として勤務。

【立東舎】 <https://rittorsha.jp/>

立東舎は文芸、マンガほか、さまざまな分野のポップカルチャーを紹介する出版活動を展開中。「乙女の本棚」などの好評シリーズのほか、手塚治虫、谷ゆき子らの幻のマンガの復刻などで感度の高い読者の話題を集めている出版ブランドです。

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド＆レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー＆クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア＆コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やTシャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等のWeb サービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp